

平成 25 年度（H25 シカ年度*）
知床半島エゾシカ保護管理計画
実行計画（案）



平成 25 年 6 月

* 「シカ年度」の定義については P1 の②参照

目 次

1. 知床半島エゾシカ保護管理計画実行計画について.....	p.1
2. H25 シカ年度実行計画（管理事業）一覧.....	p.3
3. H25 シカ年度実行計画（モニタリング調査）一覧.....	p.4
4. 計画の実行に関する検討スケジュール.....	p.5
5. 中長期目標.....	p.6
＜付録＞ 補足資料	
1) 知床半島エゾシカ保護管理計画・地区区分図.....	p.7
2) H25 シカ年度 管理事業位置図.....	p.8
3) H25 シカ年度モニタリング調査位置図.....	p.9
4) 植生等モニタリングサイト位置図.....	p.10
5) 植生モニタリングサイト一覧表.....	p.11
別表 1 第 2 期エゾシカ保護管理計画のモニタリング項目	
別表 2 第 2 期エゾシカ保護管理計画 計画期間中のスケジュール	

1. 知床半島エゾシカ保護管理計画実行計画について

① 目的

今年度は、第2期「知床半島エゾシカ保護管理計画」の計画期間（平成24年4月～29年3月）の2年目にあたる。同計画期間についても、第1期計画に引き続き、各シカ年度毎に「知床半島エゾシカ保護管理計画実行計画」を作成し、エゾシカ保護管理施策を実施するものとする。本実行計画は、平成25年6月～26年5月を計画期間とする。

また、「知床半島エゾシカ保護管理計画」は北海道が定める特定鳥獣保護管理計画「エゾシカ保護管理計画」の地域計画に位置づけられていることから、本実行計画に基づく各種事業の実施にあたっては、「エゾシカ保護管理計画」と十分な連携を図りながら進めるものとする。

② H25 シカ年度実行計画期間

エゾシカ保護管理上の年度区切りとしては、6月開始、翌年5月終了とする。

年度の表記としては、「H25 シカ年度」とする。

③ H25 シカ年度実行計画概要

<管理事業>（3ページ参照）

「知床半島エゾシカ保護管理計画」の中で定めた3つの管理手法（防御的手法、越冬環境改変、個体数調整）を各地区の管理方針に基づいて優先順位の高いものから順に実施することとする。

i) 「防御的手法」

知床岬などに設置されている各種植生保護柵による防御を継続するとともに、幌別一岩尾別地区では植生保護柵や単木保護ネットの補修を実施してシカ樹皮食い防止対策を引き続き進める。ウトロ地区では、市街地を取り囲む侵入防止柵の維持管理や被害対策について、継続実施する。

ii) 「越冬環境改変」

100平方メートル運動の森・トラストによる、開拓跡地の森林復元作業を引き続き進める。公共事業等における法面植栽等については、エゾシカの嗜好性の低い在来種の利用を推進する。

iii) 「個体数調整」

H24シカ年度については、特定管理地区（知床岬地区）で個体数調整が実施され、捕獲支援用仕切柵を活用して効率的にエゾシカを捕獲した。エゾシカB地区（ルサー相泊地区・幌別一岩尾別地区）においては密度操作実験を行った。隣接地区においても林野庁による囲いわな捕獲、斜里町及び羅臼町による有害捕獲等が実施され、6年目となる狩猟捕獲の効率性の検討（輪採制システム（H19～21年度）、中断期間設定（H22～））が行われた。

H25シカ年度については、引き続き知床岬地区において個体数調整を実施し、ルサー相泊地区

及び幌別一岩尾別地区においては 2 年目の密度操作実験を実施する。幌別一岩尾別地区では海岸付近の越冬個体群を効率的に捕獲するための大型囲い柵を設置し、隣接地区においては囲いわなや有害捕獲による密度操作を継続実施する他、狩猟による密度操作を推進する。

なお、実施にあたっては、希少鳥類への影響に配慮する。

<モニタリング調査> (4 ページ参照)

「知床半島エゾシカ保護管理計画」の中で定めた 3 区分（植生、エゾシカ個体数・個体数指数、土壤浸食）ごとに必要なデータを収集することを目的とする。

i) 「植生」

平成 24 年度の各種調査では、知床岬地区において、イネ科草本群落の現存量の増加やクサフジ等の回復、森林の下層葉量の増加等が見られ、植生の回復傾向が示唆された。

H25 シカ年度も、既存の植生保護柵内外の継続調査のほか、密度操作実験対象地におけるシカ採食圧調査、広域的なシカ採食圧評価のための混合ベルト調査等を引き続き実施する。

ii) 「エゾシカ個体数・個体数指数」

H24 シカ年度の調査では、シカの捕獲を行っている 3 地区については、ヘリカウント調査等によりシカ個体数の減少が示唆された。春のライトセンサスによる調査ではシカ個体数が増加しているが、天候不順による調査実施時期の遅れが影響している可能性がある。今後は秋期のライトセンサス結果を個体数指数算定に用いることを検討し、他の手法を導入することも検討する。

H25 シカ年度も、主要越冬地での生息動向を、航空カウント、ロードセンサス（ライトセンサスや日中センサス）などの手法を用いて引き続き把握することに加え、自然死亡状況についても情報収集する。

iii) 「土壤浸食」

環境省で実施している知床岬の詳細調査区及び広域採食圧調査区では、隔年で調査することとしており、平成 24 シカ年度に実施したが、近年新たな土壤侵食は認められず、植生が回復傾向であることから、今後は調査間隔を 5 年毎とする。

林野庁では広域採食圧調査の実施時に A0 層と表土の流失の程度を 5 段階で把握する。

2. H25シカ年度実行計画(管理事業)一覧

管理手法	遺産地域		隣接地区
	エゾシカA地区 ――― 特定管理地区(知床岬)	エゾシカB地区	
防御的手法	<p>■既存の侵入防護柵の維持・補修 概要:既存侵入防護柵の巡視及び補修 場所:知床岬 事業時期:通年 実施主体:環境省、林野庁 (既存侵入防護柵) ・亜高山高茎草本群落(20m×20m) ・ガンコウラン群落(15m×15m) ・山地高茎草本群落 ・林野庁森林調査区(1ha)</p>	<p>■既存の侵入防護柵の維持・補修 概要:既存侵入防護柵の巡視及び補修 場所:幌別―岩尾別地区 事業時期:通年 実施主体:林野庁、斜里町 (既存侵入防護柵) ・幌別地区林野庁森林調査区(1ha) ・岩尾別カシワ林林野庁森林調査区(林野庁H20, 21, 22設置) (3.55ha) ・しれとこ100平方メートル運動地内の各種侵入防護柵</p> <p>■侵入防護柵の新規設置 概要:侵入防護柵の新規設置 場所:幌別―岩尾別地区 事業時期:春～秋 実施主体:斜里町 (新規侵入防護柵) ・岩尾別地区岩尾別川河畔(0.5ha)</p> <p>■樹皮食い防止対策の実施 概要:ポリエチレン製ネットによる既存単木保護木(オヒョウ、イチイ、ミズキ、アオダモ等、計約800本)の補修等 場所:幌別―岩尾別地区(「100平方メートル運動の森・トラスト」(斜里町)) 事業時期:春～秋 実施主体:斜里町</p>	<p>■ウトロ市街地侵入防護柵の維持管理を含めた被害対策 概要:ウトロ市街地を取り囲む侵入防護柵(延長距離4.1km)の維持管理および被害対策(柵内のシカの除去を含む) 場所:ウトロ市街地 事業時期:通年 実施主体:斜里町</p> <p>■既存の侵入防護柵の維持・補修 概要:既存侵入防護柵の巡視及び補修 場所:ウトロ地区(イチイ林木遺産資源保存林) 事業時期:通年 実施主体:林野庁</p>
越冬環境改変		<p>■開拓跡の未立木地の森林化作業 概要:しれとこ100平方メートル運動地内での、開拓跡未立木地の森林化作業(植樹苗の保護育成等)を引き続き実施 場所:幌別・岩尾別地区 事業時期:春～秋 実施主体:斜里町</p> <p>■道路法面牧草面積の拡大抑制 概要:工事実施にあたっての協議や許認可の際に、新たな牧草面積の拡大を可能な限り抑制するよう指導に努める 場所:特に国立公園内のシカ越冬地周辺の道路沿い 実施主体:環境省</p>	
個体数調整	<p>■仕切り柵の維持管理 概要:仕切り柵の維持管理 場所:知床岬 事業時期:通年</p> <p>■密度操作事業 概要:越冬期におけるシカの捕獲 場所:知床岬 事業時期:平成26年2～4月 実施主体:環境省 目 標:7-10年間で越冬個体数を35頭未満(5頭/km²)にまで減少させる。 手 法:仕切り柵を活用した銃器による捕獲を行う。</p>	<p>■ルサー相泊地区における密度操作実験(3年計画の2年目) 概要:越冬期におけるシカの捕獲 場所:ルサー相泊地区 事業時期:平成25年11月～平成26年4月(2年目) 実施主体:環境省</p> <p>■幌別―岩尾別地区における密度操作実験(3年計画の2年目) 概要:越冬期におけるシカの捕獲 場所:幌別―岩尾別地区 事業時期:平成25年11月～平成26年3月(または5月)(2年目) 実施主体:環境省</p> <p>■仕切り柵の設置 概要:仕切り柵の新設 場所:幌別―岩尾別地区 事業時期:平成25年6～12月 実施主体:環境省</p>	<p>■銃による個体数調整捕獲(羅臼市街周辺―羅臼町、ウトロ高原―斜里町)</p> <p>■麻酔薬による個体数調整捕獲(羅臼市街―羅臼町)</p> <p>■囲いワナによる個体数調整捕獲(ウトロ・真鯉地区―斜里町)</p> <p>■囲いワナによる個体数調整捕獲(ウトロ―林野庁)</p> <p>■狩猟による密度操作(北海道―調整中)</p>

3. H25シカ年度実行計画(モニタリング調査)一覧

	調査項目	遺産地域		隣接地区	
		エゾシカA地区	エゾシカB地区		
植生	詳細調査	植生回復調査	<p>■ 亜高山高茎草本群落侵入防護柵(20×20m)内外</p> <p>■ ガンコラン群落侵入防護柵(15×15m)内外</p> <p>■ 山地高茎草本群落侵入防護柵</p> <p>概要: 植生の回復状況を調査</p> <p>時期: 8月</p> <p>実施主体: 環境省</p>	<p>■ 幌別・岩尾別: 100平米運動地各種侵入防護柵内外</p> <p>概要: 植生の回復状況を調査</p> <p>時期: 7~9月</p> <p>実施主体: 斜里町</p>	
		密度操作実験対象地域シカ採食圧調査	<p>■ 知床岬台地上ササ調査区×3</p> <p>概要: ササ高・被度を調査し採食圧を把握。</p> <p>時期: 8月</p> <p>実施主体: 環境省</p> <p>■ 知床岬台地上イネ科草本等調査区(金属ケージ6、簡易ケージ10)</p> <p>概要: イネ科草本等シカの餌植物の採食圧の変化を把握。</p> <p>時期: 8月</p> <p>実施主体: 環境省</p>	<p>■ ルサー相泊地区固定調査区モニタリング調査</p> <p>概要: 平成23年に設定した固定調査区のモニタリング調査</p> <p>時期: 8月</p> <p>実施主体: 環境省</p>	
	広域的調査	シカ採食圧広域調査	<p>■ 知床岳・羅臼湖周辺植生・採食圧調査</p> <p>概要: 高山～森林・湿原植生調査</p> <p>時期: 7~9月</p> <p>実施主体: 環境省</p> <p>■ 硫黄山・東岳シレットコスミレ採食状況調査</p> <p>概要: シレットコスミレの被食株数をカウント</p> <p>時期: 7~9月</p> <p>実施主体: 環境省</p>	<p>■ 広域採食圧調査</p> <p>概要: 植生調査(草本含む)、被食状況調査</p> <p>時期: 7月~9月(予定)</p> <p>実施主体: 林野庁</p>	
		在来種分布調査 植生調査			
エゾシカ個体数・個体数指数	詳細調査	シカ生息動向調査	<p>■ 航空カウント</p> <p>概要: セスナまたはヘリからの写真撮影による頭数把握</p> <p>時期: 1-2月</p> <p>実施主体: 環境省</p>	<p>■ ルサー相泊: ライトセンサス</p> <p>概要: ライトセンサス調査(岩見橋～相泊: 調査距離10.2km)</p> <p>時期: 春、秋</p> <p>実施主体: 羅臼町</p> <p>■ 幌別・岩尾別: ライトセンサス</p> <p>概要: 幌別・岩尾別地区のライトセンサス調査(調査距離9.5km)</p> <p>時期: 春、秋</p> <p>実施主体: 斜里町</p> <p>■ ルサー相泊地区、幌別-岩尾別地区、ルシャ地区: 航空カウント</p> <p>概要: セスナまたはヘリからの頭数把握</p> <p>時期: 1-2月</p> <p>実施主体: 環境省</p>	<p>■ ウトロ-真鯉: 日中センサス</p> <p>概要: 日中センサス(調査距離約10km)</p> <p>時期: 12~4月</p> <p>実施主体: 知床財団</p> <p>■ 羅臼町峯浜: ライトセンサス</p> <p>概要: ライトセンサス(調査距離約10km)</p> <p>時期: 10月中旬~下旬</p> <p>実施主体: 北海道</p>
		自然死亡状況調査	<p>■ 自然死亡数調査</p> <p>概要: シカの性別別の自然死亡数を把握。</p> <p>時期: 春期</p> <p>実施主体: 知床財団</p> <p>* 捕獲個体と自然死亡個体の判別がつかない場合は実施を見送り。</p>	<p>■ ルサー相泊: 自然死亡状況把握調査</p> <p>概要: シカの性別別の自然死亡状況を把握。</p> <p>時期: 冬期~春期</p> <p>実施主体: 羅臼町</p> <p>■ 幌別・岩尾別: 自然死亡状況把握調査</p> <p>概要: シカの性別別の自然死亡状況を把握。</p> <p>時期: 冬期~春期</p> <p>実施主体: 斜里町</p>	<p>■ ウトロ-真鯉: 自然死亡状況把握調査</p> <p>概要: シカの自然死亡状況を把握。</p> <p>時期: 冬期~春期</p>
	広域的調査	越冬群分布調査			
				<p>■ 行動圏・季節移動調査</p> <p>概要: GPS首輪を装着した個体3頭を追跡して行動圏を把握(ルサー相泊、幌別-岩尾別)</p> <p>時期: 通年</p> <p>実施主体: 知床財団</p>	
土壌浸食	調査細	土壌浸食状況調査			
	広域的調査	土壌浸食状況広域調査	■ 土壌浸食状況の広域モニター(当面は広域採食圧調査の中で、林床の裸地面積等の変動を調査することで簡易的に把握)		
生態系への影響	詳細調査	陸生鳥類生息状況調査	<p>■ 録音調査・ラインセンサス</p> <p>時期: 6月</p> <p>実施主体: 環境省</p>	<p>■ 幌別-岩尾別: 録音調査・ラインセンサス</p> <p>時期: 5~6月</p> <p>実施主体: 環境省</p>	

4. 計画の実行に関する検討スケジュール

H25 シカ年度

	知床半島エゾシカ保護管理計画	北海道エゾシカ保護管理計画
4月		
5月	各種調査結果（事業結果）とりまとめ 実行計画案について、北海道、地元自治体等 関係行政機関と調整	捕獲数集計（許可捕獲・狩猟（仮）） H25 エゾシカ可猟区の素案作成 →市町村への意見照会（区域・期間）
6月	植生指標検討会議 第1回エゾシカ・陸上生態系WG会議 ・平成24年度調査結果 ・平成25年度実行計画（案） ・植生指標開発の進捗状況について ・第3期に向けた隣接地区・エゾシカA地区の管 理方針の検討について 実行計画期間開始	
7月	(第1回科学委員会、第1回地域連絡会議)	エゾシカ保護管理検討会指数検討部会 (H24 生息動向評価・H25 目標捕獲数の検討) エゾシカ保護管理検討会（全体会） (部会検討結果の確認・可猟区素案の検討) H25 エゾシカ可猟区の道案作成 北海道環境審議会（可猟区道案の諮問）
8月		環境省届出 成案 告示
9月		
10月	第2回エゾシカ・陸上生態系WG会議 ・H25 シカ年度実施状況の報告（中間報告） ・H25 シカ年度個体数調整等事業実施方針 ・指標開発の検討（経過報告）	エゾシカ狩猟解禁（予定） ライトセンサス調査（全道）実施
11月	密度操作実験（幌別岩尾別地区 2年目）	H24 狩猟データ（属地）とりまとめ（月末） ライトセンサス調査結果とりまとめ（月末）
12月	密度操作実験（ルサー相泊地区 2年目）	
1月	個体数調整（知床岬地区 7年目）	
2月		
3月		
4月		
5月	個体数調整終了 H25 シカ年度実行計画期間終了	

5. 中長期目標

実行計画		第1期		第2期				備考
		H22シカ年度	H23シカ年度	H24シカ年度	H25シカ年度	H26シカ年度	H27シカ年度	
知床岬	目標捕獲頭数① 仕切り柵内	57(実績)	216頭(実績)	32頭(実績)	直近航空カウントの80%			
	航空カウント目標値②	246(捕獲前実績) 捕獲後246-57=189	265(捕獲前実績) 捕獲後265-131-80-5=49 1990年代前半レベル	56(捕獲前実績) 捕獲後56-13-19=24	<30(捕獲前) 1980年代レベル?			
	①/②×100	23.2	81.5	57.1				
	推定メス成獣越冬数 (航空カウント)	<95	<25	<12	<15(捕獲前) 1980年代レベル?			
備考	○ヘリによる厳冬期捕獲	○仕切り柵設置 ○仕切り柵を併用した捕獲	○仕切り柵を併用した捕獲				○仕切柵を併用した捕獲 ○結果評価 今後の方針を確認	
ルサ相泊	目標捕獲頭数	101(実績) シカ年度125(実績)	171(実績) シカ年度188(実績)	44(実績) シカ年度78(実績)	220			
	U13ヘリカウント 目標頭数	108(実績)	—	121(実績)	第1段階目標:<90 2003年レベル			ヘリは高コストのため、ヘリセンサ結果を長期にわたり指標として使用可能か? 例えば、岬、ルサ相泊、岩尾別幌別の3か所を隔年でセンサできないか?
	U13ヘリカウント密度 目標値(頭/km)	8.69(実績)	—	9.73(実績)	第1段階目標:<7.24 2003年レベル			
	ライトセンサ春 目標値(頭/km)	19.4(実績)	9.5(実績)	13.2(実績)				SS実施により、道路沿いの密度が局所的に低下? 指標として不適?
	ライトセンサ秋 目標値(頭/km)	12.1(実績)	11.4(実績)	4.0(実績)	4.8			
	標識再捕獲法による メス成獣推定個体数	327.7±94.2(捕獲後春)	184.0±46.5(捕獲後春)	—	—			
	備考	罠いワナ・SS	罠いワナ・積雪期SS	罠いワナ・積雪期SS	罠いワナ・積雪期SS			
幌別	目標捕獲頭数	0(実績)	143(実績)	—	180			
	U06ヘリカウント 目標頭数	322(実績)	—	126(実績)	第1段階目標:<147 2003年レベル			ヘリは高コストのため、ヘリセンサ結果を長期にわたり指標として使用可能か? 例えば、岬、ルサ相泊、岩尾別幌別の3か所を隔年でセンサできないか?
	U06ヘリカウント密度 目標値(頭/km)	33.86(実績)	—	13.3(実績)	第1段階目標:<15 2003年レベル			
	幌別ライトセンサ春 目標値(頭/km)	12.9(実績)	6.7(実績)	8.2(実績)	第1段階目標<5 1990年代半ば	第2段階目標<3 1990年代前半	第3段階目標:<1 1980年代後半	岩尾別と異なり、積雪期SSは未実施。指標として不適? 越冬期捕獲前の秋の結果に注目。秋センサが指標として使えると長年蓄積されたデータを活用可能。
	幌別ライトセンサ秋 目標値(頭/km)	7.8(実績)	8.4(実績)	4.7(実績)	第1段階目標:<1~2 1980年代後半			
	備考		<<りワナ・罠いワナ	無積雪期SSの一部	罠いワナ			
岩尾別	目標捕獲頭数	0(実績)	309(実績)	418(実績)	220			
	U05ヘリカウント 目標頭数	384(実績)	—	105(実績)	第1段階目標:<113 2003年レベル			ヘリは高コストのため、ヘリセンサ結果を長期にわたり指標として使用可能か? 例えば、岬、ルサ相泊、岩尾別幌別の3か所を隔年でセンサできないか?
	U05ヘリカウント 密度目標値(頭/km)	33.28(実績)	—	9.1(実績)	第1段階目標:<9.8 2003年レベル			
	岩尾別ライトセンサ春 目標値(頭/km)	10.6(実績)	2.2(実績) 1989調査開始以来最低	4.8(実績)	第1段階目標:<1 1980年代?			SS実施により、道路沿いの密度が局所的に低下? 指標として不適? 越冬期捕獲前の秋の結果に注目。秋センサが指標として使えると長年蓄積されたデータを活用可能。
	岩尾別ライトセンサ秋 (頭/km)	9.2(実績)	7.1(実績)	2.4(実績)	第1段階:<1.8 1980年代後半レベル			
	備考		積雪期SS	無積雪期SSの一部・ 罠いワナ・積雪期SS				

知床半島エゾシカ保護管理計画・地区区分図



H25シカ年度モニタリング調査位置図

*固定調査区による植生・採食圧調査を除く



エゾシカ採食区に関する森林固定調査区の一覧 今後のモニタリング計画

補足資料

17	10	7	0	40	18	21	2	15	30	26	森林管理局
2	1			3	2	1			1	2	環境省

番号	エリアNo	エリア	調査区名	区分	設置年	実施年	面積	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	方針
1	M00	岬	E_Mc	団	2004	林	10,000	●			●		○		○				大規模補の効果を見るために2年間隔とする。
2	M00	岬	E_Mo	団	2004	林	10,000	●			●		○		○				大規模補の効果を見るために2年間隔とする。
3	S08	横別岩尾別	E_Hc	団	2003	林	9,600	●	●	●	●		○		○				これまでの調査間隔を維持
4	S08	横別岩尾別	E_Ho	団	2003	林	10,000	●	●	●	●		○		○				これまでの調査間隔を維持
5	S08	横別岩尾別	E_ic	団	2009	林	10,000		●	●	●								影響を見るには適さないため、5年間隔程度とする。
6	S08	横別岩尾別	E_io1	団	2009	林	2,500		●	●	●								影響を見るには適さないため、5年間隔程度とする。
7	S08	横別岩尾別	E_io2	団	2009	林	2,500		●	●	●								影響を見るには適さないため、5年間隔程度とする。
8	M00	岬	M00-1	森1	2011	林	400									○			大規模補の効果を見るために2年間隔とする。
9	M00	岬	M00-2	森1	2011	林	400					●		○		○			大規模補の効果を見るために2年間隔とする。
10	M00	岬	M00-3	森1	2011	林	400					●		○		○			大規模補の効果を見るために2年間隔とする。
11	M00	岬	M00-4	森1	2011	林	400					●		○		○			大規模補の効果を見るために2年間隔とする。
12	M00	岬	M00-5	森0	2008	林	400	●					○	○		○			大規模補の効果を見るために2年間隔とする。
13	M00	岬	M00-6	森0	2008	林	400	●					○	○		○			大規模補の効果を見るために2年間隔とする。
14	R11	岬東側	R11-1	森0	2009	林	400		●						○				アプローチ困難なため5年程度間隔とする。
15	R11	岬東側	R11-2	森0	2009	林	400		●						○				アプローチ困難なため5年程度間隔とする。
16	R12	相泊	R12-1	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間隔とする。
17	R12	相泊	R12-2	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間隔とする。
18	R12	知床岳(羅臼)	R12-H1	森2	2008	環	400	●						○					5年間隔の予定
19	R13	ルサ	R13-1	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間隔とする。
20	R13	ルサ	R13-2	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間隔とする。
21	R13	ルサ	R13-3	森1	2011	環	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間隔とする。
22	R13	ルサ	R13-4	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
23	R13	ルサ	R13-5	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
24	R14	サシルイ川	R14-1	森1	2011	林	400					●			---		○		5年間隔で実施
25	R14	サシルイ川	R14-2	森1	2011	林	400					●			---		○		5年間隔で実施
26	R14	サシルイ川	R14-3	森1	2011	林	400					●			---				5年間隔で実施
27	R16	羅臼	R16-1	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
28	R16	羅臼	R16-2	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
29	R16	羅臼	R16-3	森0	2007	環	400	●						○					5年間隔の予定
30	R16	羅臼	R16-H1	森3	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
31	R16	羅臼	R16-H2	森3	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
32	R17	知西別川	R17-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
33	R17	知西別川	R17-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
34	R20	春刈古丹	R20-1	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
35	R20	春刈古丹	R20-2	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
36	R20	遠音別岳(羅臼)	R20-H1	森3	2011	環	200					●					○		5年間隔の予定
37	R21	陸志別	R21-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
38	R21	陸志別	R21-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
39	R21	陸志別	R21-3	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
40	R21	陸志別	R21-4	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
41	R21	陸志別	R21-5	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
42	S01	岬西側	S01-1	森0	2008	林	400	●						○					5年間隔で実施(揃えるため12年実施もありうる)
43	S01	岬西側	S01-2	森0	2008	林	400	●						○					5年間隔で実施(揃えるため12年実施もありうる)
44	S02	ルシャ	S02-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
45	S02	ルシャ	S02-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
46	S02	ルシャ	S02-3	森0	2008	林	400	●						○					5年間隔で実施(揃えるため12年実施もありうる)
47	S02	ルシャ	S02-4	森0	2008	林	400	●						○					5年間隔で実施(揃えるため12年実施もありうる)
48	S02	ルシャ	S02-5	森0	2008	林	400	●						○					5年間隔で実施(揃えるため12年実施もありうる)
49	S02	ルシャ	S02-6	森0	2008	林	400	●						○					5年間隔で実施(揃えるため12年実施もありうる)
50	S04	五湖	S04-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
51	S04	五湖	S04-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
52	S04	連山中腹	S04-H1	森2	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
53	S04	連山中腹	S04-H2	森2	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
54	S04	連山中腹	S04-H3	森2	2003	林	200							○					古い調査区のため改めて設定する。
55	S04	連山中腹	S04-H4	森2	2007	環	400	●						○					5年間隔の予定
56	S06	横別岩尾別	S06-1	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間隔とする。
57	S06	横別岩尾別	S06-2	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間隔とする。
58	S06	横別岩尾別	S06-3	森1	2011	林	400					●		○		○			個体数調整の効果を見るために2年間隔とする。
59	S06	横断道	S06-H1	森3	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
60	S06	横断道	S06-H2	森3	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
61	S06	横断道	S06-H3	森2	2006	林	400	●						○					○
62	S07	宇登呂	S07-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
63	S07	宇登呂	S07-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
64	S08	遠音別	S08-1	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
65	S08	遠音別	S08-2	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
66	S08	遠音別	S08-3	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
67	S08	遠音別	S08-4	森0	2006	林	400	●						○					5年目を迎えるため再調査
68	S08	遠音別岳	S08-H1	森3	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
69	S08	遠音別岳	S08-H2	森3	2011	環	400					●					○		5年間隔の予定
70	S08	遠音別岳	S08-H3	森3	2011	環	400					●					○		5年間隔の予定
71	S10	真鯉	S10-1	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施
72	S10	真鯉	S10-2	森1	2011	林	400					●					○		5年間隔で実施

※2年間隔の実施時は毎木調査については実施不要。

【別表1】 第2期エゾシカ保護管理計画のモニタリング項目

進捗状況や計画変更等に基づき一部改訂(130621)

評価項目	実施主体	モニタリング項目	目的・内容	調査地	計画期間					
					2012	2013	2014	2015	2016	
植生	詳細調査	林野庁	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査	エゾシカ捕獲圧の強度や植生保護柵の配置・規模の再検討のため、主要越冬地等に設定した各種植生調査プロット及び防鹿柵内外の植生調査を行い、特定植物種とエゾシカ増減との対応関係や植生の回復状況などを把握する。林野庁3か所(知床岬・幌別・岩尾別)、環境省3か所(全て知床岬)。林野庁の知床岬は隔年、岩尾別は5年に1回の調査間隔とする。	知床岬・幌別・岩尾別		知床岬 幌別		知床岬 幌別	岩尾別
		環境省			知床岬	○	○	○	○	○
		環境省		密度操作実験対象地域のエゾシカ採食圧調査	エゾシカ許容密度(各越冬地での捕獲目標数)の検討のため、密度操作実験を行う越冬地にイネ科草本、ササの採食圧調査プロットを設定し、エゾシカの密度変化に対する植生の変化を把握する。	知床岬 ルサー相泊 幌別-岩尾別	○	○	○	○
	広域調査	林野庁	広域植生調査	半島全体でのシカ採食圧の把握のため、地域別・標高帯別・立地別のシカ採食圧状況(木本・草本)を広域的に把握する。固定調査区を設定し、概ね5年に1回モニタリング調査を行う。	森林植生	○	○	○	○	○
		環境省			高山・亜高山植生	連山	知床岳 羅臼湖			遠音別
		環境省			海岸植生				海岸 (斜里側)	海岸 (羅臼側)
環境省	硫黄山周辺のシレットコスミレの定期的な生息・分布状況調査	硫黄山周辺の登山道沿い及び固定方形区にて、シレットコスミレの分布状況及び採食の状況を確認する。	硫黄山周辺(シレットコスミレ)	○(当面は毎年モニタリング)						
エゾシカ個体数・個体数指数	詳細調査	環境省	エゾシカ主要越冬地におけるカウント調査	捕獲実施方法の検討(実施時期、捕獲数等決定)のため、主要越冬地においてライトセンサスや航空機からのカウント等を行い、個体数の増減傾向及び群れ構成等を把握する。	知床岬(航空カウント)	○	○	○	○	○
		斜里町 羅臼町 知床財団			幌別-岩尾別・ルサー相泊・真鯉	○	○	○	○	○
		知床財団		エゾシカ間引き個体、自然死亡個体などの体重・妊娠率など個体群の質の把握に関する調査	捕獲実施方法の検討(実施時期、捕獲数等決定)のため、主要越冬地における、自然死亡個体の年齢・性別・頭数を把握する。また、間引き個体の体重・妊娠率等を把握する。	知床岬 幌別-岩尾別	○	○	○	○
	広域的調査	環境省	エゾシカ越冬群の広域航空カウント	植生保護柵の配置や個体数調整の実施等の検討のため、ヘリセンサスによる越冬群の分布・規模等を把握(半島規模の生息数推定も合わせて実施)する。次回は2020年度の実施を予定。	全域	密度操作実験実施箇所	密度操作実験実施箇所 (+ルシヤ)			
		環境省	越冬地エゾシカ実数調査	捕獲数の検討のため、越冬地全体、あるいは一部区域のシカを追い出し、実数を把握する。						
		環境省	エゾシカ季節移動調査	個体群管理に向けた地区区分設定のため、電波発信器等を用いて各越冬群の季節移動状況の詳細情報を把握する。第2期計画期間内に実施予定なし。	全域					
土壌浸食	詳細	環境省	土壌浸食状況調査	土壌浸食の実態及び原因を把握する。5年に1回とし、次回は2017年度に実施予定。	知床岬	○				
	広域	環境省 林野庁	土壌浸食状況広域調査	広域的な土壌浸食の発生場所、規模等を把握する。	全域	○				
生態系への影響	詳細調査	環境省	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に昆虫の生息状況によって把握する。(次回実施は未定)	知床岬・幌別・羅臼	一部実施				
	環境省	陸生鳥類生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に鳥類の生息状況によって把握する。(次回実施は未定)	知床岬		○				

【別表2】 第2期エゾシカ保護管理計画 計画期間中のスケジュール

		第1期	第2期				第3期	
		2011 (H23) 年度	2012 (H24) 年度	2013 (H25) 年度	2014 (H26) 年度	2015 (H27) 年度	2016 (H28) 年度	2017 (H29) 年度
特定管理地区 (知床岬)		○仕切り柵設置 ○個体数調整 仕切り柵を用いた銃猟による個体数調整を実施する。	○個体数調整 仕切り柵を用いた銃猟による個体数調整を実施する。				○結果評価 今後の方針を確認	○個体数調整
エゾシカA地区	高山帯	○モニタリング 高山帯の希少種（シレットコスミレ等）の採食状況等について調査を実施する。				○第3期に向けた管理方針の取りまとめ		
	ルシヤ		○管理方針の再検討 エゾシカA地区内では重要な越冬地の一つであるため、今後の管理方針を検討する。			○第3期に向けた管理方針の取りまとめ		
エゾシカB地区	ルサー相泊	○密度操作実験へ向けた捕獲手法の検討と試行。	○個体数調整 密度操作実験1年目	○個体数調整 密度操作実験2年目	○個体数調整 密度操作実験3年目	○結果評価 今後の方針を決定。 ○第3期に向けた管理方針の取りまとめ		
	幌別-岩尾別	○密度操作実験へ向けた捕獲手法の検討と試行。	○個体数調整 密度操作実験1年目	○個体数調整 密度操作実験2年目	○個体数調整 密度操作実験3年目	○結果評価 今後の方針を決定。 ○第3期に向けた管理方針の取りまとめ		
隣接地区			○管理方針の再検討 密度操作実験候補地としての真鯉地区の扱いを検討する。 コミュニティベースの個体数調整の活用等、持続可能な管理体制の構築のための方策を検討する。 侵入防止柵などの地域住民とエゾシカの軋轢緩和のための方策を検討する。			○第3期に向けた管理方針の取りまとめ		
計画の見直し		○第2期管理計画策定	○モニタリングの評価基準の検討と策定				○モニタリング結果の評価	
遺産地域管理計画など		○モニタリング計画策定（科学委員会）	第3期管理計画策定に向けて、管理計画の基本方針について、現行方針を継続するか、変更するか検討を進める。			○第3期管理計画素案作成 ○遺産地域管理計画の見直し（科学委員会）	○第3期管理計画策定	
ユネスコ/IUCN現地調査報告書の勧告への対応		○指標開発 植生指標を中心に検討する。	○指標開発 生態系、生物多様性を加味した指標を検討する					
			知床岬地区植生指標の策定					